

【表紙のこぼれ】

部活雑感

那須高明

近くにある中学校は学級数の割には校地は広く、施設のにもぐぐまれている方ではないかと思う。部活も活発で活気に満ちている。私自身最近手ほどきをうけて始めたテニスに今夢中になっていることもあって、フェンスネットの外から時々見学させてもらっている。初心者の一年生と二、三年生の力量の違いは驚くほどだ。体格もそうだがこの三年間の成長はすごい。この大きな差のある生徒達がうまくまとまって活動している様子はこちよよい。上級性のプレーは気迫に満ちているし、一年生の練習は心もとななくて可愛らしい。こういう部活を経験して成長する生徒なら人間関係もうまくつくれるだろうし、弱いものへの思いやりも育つだろうと思う。

しかし高校生の中なかにはそれがよくできない子が少なくない。クラスの中に孤立する生徒、学校の中でちよっとしたトラブルにも自分の身の処し方がわからない子がいるが、すべての生徒に、施設や指導者の面でもゆとりのある部活が保障されるなら、人間的成長にどんなにかプラスになるか知れない。

スポーツは上手、下手にかかわらずそれに夢中になること自体が楽しいものだけど、今の施設の状態は、下手ははじき出されるし、はじかれる人にとってはスポーツは楽しいものではなくなるのだから、学校という社会はやっぱ酷なんだと思う。

(なす こうめい 長岡大手高校)

ひるば

アゲハが鏡を見たんですって

秋風の吹くニラ畑にもんしろちようが、何十匹もふわらんふわらんと舞いとぶ風景はみごとです。ニラの白い花が、舞っているかのように見えます。秋の日にも、もんしろちようはこんな風に、むれとぶものなのです。

先日、不思議な光景を見ました。園のコスモスにとんできたアゲハちように、清美ちゃんが鏡をさしだしているのです。ちようは、その気配に、ふわりと動きまです。すると清美ちゃんは、また、それを追いかけてそっと鏡をさしたのです。

ちように、光線をあてようというのかなと思ったりしましたが、その様子とは少しちがうようなのです。ちようが遠くへとんでいってしまったので、清美ちゃんに、何してたの、と聞いてみました。

そしたらね「アゲハがきれいだったから、鏡をみせてやってたんだよ。自分のこと、見た、みたいだったよ」ですって。

(小林光子 保母・黒埼町)